

平成28年12月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年11月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成28年11月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位: 百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位: 口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位: 百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	
顧客口座数 (単位: 口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

<11月次の概況>

11月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝104円台後半で取引が始まり、前月末からの米国大統領選におけるクリントン候補のメール問題を受けて引き続きドルが売られ、3日には102円台半ばをつけました。その後、FBIがメール問題の訴追を求めないと報じられるとドルは値を戻しましたが、9日の米国大統領選の開票当日、開票が進むにつれトランプ候補の優勢が伝えられるとリスク回避のドル売り円買いからドルは大きく下落し、トランプ候補の勝利が確定すると一時101円台前半の安値をつけました。ところが、安値をつけた直後、リスク回避ムードに代わってトランプ次期大統領の経済政策に対する期待感が台頭し急激にドルが買われ、その後も、米国金利・株価の上昇等を伴い急ピッチなドル高円安が進展し、114円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、円安方向に相場が動意付き、米ドル／円を含めての全体としての変動率は、平成28年8月以降の低迷から大きく回復しました。

このような状況の中、外国為替取引高は、外国為替相場の変動率が大きく回復したことを受けて前月比74%増加の969億通貨単位となりました。一方、営業収益は、外国為替取引高の大幅な増加の一方、取引高に占める相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が著しく増加したことから全体の収益率が低下し、562百万円と前月比55%の増加にとどまりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,547口座増加の289,389口座と堅調な増加ペースを維持した一方、外国為替取引預り証拠金は、円安方向への相場推移による顧客損益の改善等もあり、前月比1,745百万円増加の60,882百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月末比1,274百万円増加の11,423百万円であります。

以 上